

みんなの思いが 海を守る

「アルプス(ALPS)処理水 海洋放出に反対する署名」 に賛同をお願いします

■呼び掛け人

みやぎ生協・コープふくしま、宮城県漁業協同組合、宮城県生活協同組合連合会、福島県生活協同組合連合会

■署名実施期間(呼びかけ開始 2021年6月)

第三次集約 2022年12月末 第四次集約 2023年3月末 以降も継続を予定しています。

2021年4月13日、政府は国民の理解を得ないまま、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴うアルプス処理水の海洋放出を決めました。海洋放出方針は、漁業者や福島県民はもとより広く国民の反対や懸念の意思表示があるなか、「関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」という政府と東京電力が地元漁業者と文書で交わした約束を反故にして決定したものです。

私たちは、豊かな海を次世代に引き継ぐためにも、アルプス処理水は海洋放出を行わず、関係者の理解が得られる別の処理方法で実施することを、経済産業大臣、東京電力ホールディングス株式会社代表者、関係自治体等に求めていく取り組みとしてすすめていきます。引き続き署名へのご協力をお願いします。

これまでの取り組み



経済産業省



東京電力



2022年3月、第1次署名提出、要請行動を実施しました(17万9千筆提出)。

2022年9月、第2次署名提出、要請行動を実施、のべ22万筆を超える署名を提出しました。



全国に呼びかけ、学習会を開催し、のべ2,000人が参加。署名が広がる活動源に。

もう1段、大きく
広げていくために、
署名の取り組みに
ご協力ください。

お問い合わせ先

みやぎ生協・コープふくしま 福島県本部内
「アルプス処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局

〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F Tel.024-557-1181

ギモン？

不安

これでいいの？

がいっぱいある

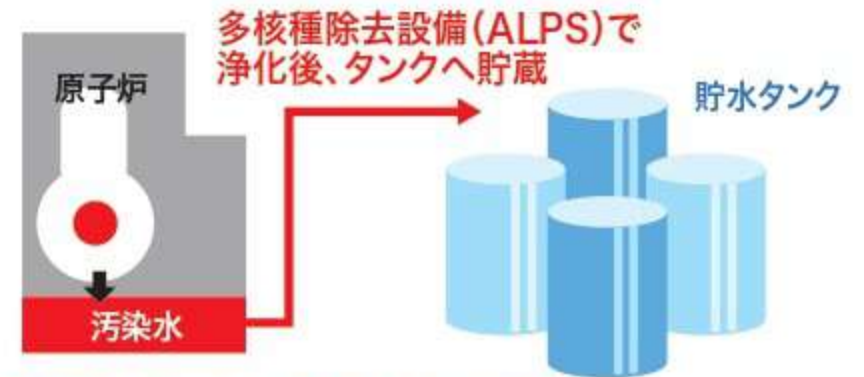
アルプス(ALPS)処理水 海洋放出問題



本当にこのまま流してしまってもいいの？

1. そもそも「ALPS処理水」ってなあに？

原発事故で発生した汚染水を多核種除去設備（ALPS）で処理した水の内、「トリチウム以外の核種について環境放出の際の規制基準を満たす水」のみをいいます。



■約7割のタンクの水はALPS処理水とは言えない。

■通常原発から排出されるものとは違う。

通常原発の排水には含まれない「57種類」もの核種が含まれています。

基準超えの処理水が約7割



トリチウム以外の放射性核種が規制基準を超えて存在しています。

なぜ、浄化しても規制基準を超えるトリチウム以外の核種が存在しているの？



通常原発の排水



福島第一原発の排水



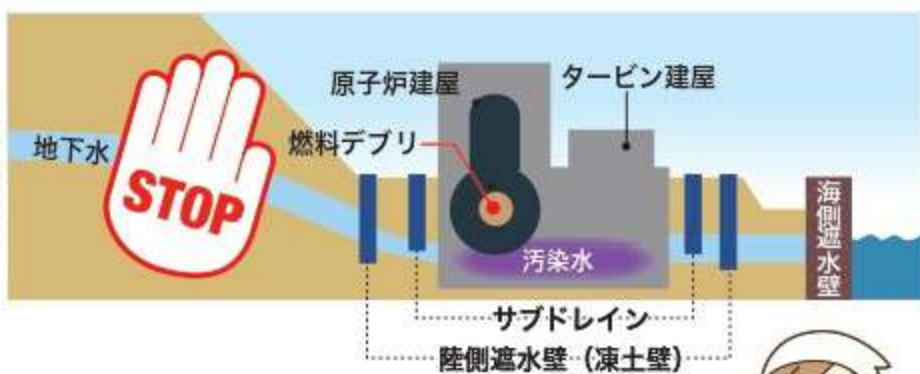
再浄化して、本当に処分前に基準値以下にできるの？



2. 政府の汚染水対策の「3つの基本」に照らし合わせると…

3つの基本とは？

- ①「汚染源に水を近づけない」
- ②「汚染源を取り除く」
- ③「汚染水を漏らさない」



止水対策が最優先すべき課題ではないの？



海洋放出 ≡ 汚染水を漏らす？

漏らさないことと海に流すことには矛盾はないの？



3. 現在の廃炉ロードマップは、廃炉の絵姿も示せていない！

福島第一原発の廃炉は2051年って本当？

■事故を起こしていない福島第二原発の
▶廃炉完了予定 2064年

■スリーマイル島原発は1979年事故
▶廃炉完了予定 2053年

燃料デブリ取り出しの見通しも立たず、廃炉の最終状態も示せない中で、なぜ海洋放出を急ぐ必要があるの？



もっと学んで、知って、みんなで考えないと…



廃炉は簡単ではないよね…

気軽にみんなで学んでみませんか？

この問題を『ほぼ10分でわかる』動画にしました。

こちらをどうぞ

<https://vimeo.com/745298141>



携帯はこちらから

内閣総理大臣 様
経済産業大臣 様
東京電力ホールディングス株式会社代表者 様

アルプス処理水海洋放出に反対する署名

2021年4月13日、政府は東京電力福島第一原発事故に伴うアルプス（多核種除去装置）処理水の海洋放出を決めました。海洋放出方針は、漁業者はもとより国民の反対や懸念があるなか「関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」という東京電力と地元漁業者の約束を反故にして決定したものです。

「アルプス処理水」は、原発事故を起こした原子炉から発生している放射能汚染水を処理したものであり、通常原発から放出されているトリチウム水とは違うものです。アルプス処理すればトリチウム以外は除去可能とされていますが、実際には基準値を超えるトリチウム以外の核種の存在も指摘され、海洋環境への影響が懸念されています。安全性の担保、国民的理解、国際社会の理解醸成、風評被害対策について、大きな課題として残ったままです。

このまま海洋放出が行われることになれば、地域経済に大きな影響を及ぼし震災復興のために払われてきた10年の努力が水泡に帰す大きな懸念があります。今後30年以上の長期間にわたる海洋放出は許されることではありません。

廃炉の完了と東日本大震災、原発事故からの復興への道は、長く先が見通せない状況にあります。原発の廃炉、復興にむけての取り組みは、関係者、国民との理解と信頼のもとすすめるべきです。

こうしたことから、豊かな海を次世代に引き継ぐためにも、アルプス処理水の処分は、海洋放出によらず、関係者、国民の理解が得られる別の方法で、実施することを要請します。

要 請 事 項

一、東京電力福島第一原子力発電所のトリチウム等を含むアルプス処理水は海洋放出を行わず、関係者、国民の理解が得られる別の方法で処理すること。

氏 名	住 所

※ご記入いただいた個人情報は、この要請目的以外には使用しません。

■呼びかけ団体

- ・みやぎ生協・コープふくしま
- ・宮城県漁業協同組合
- ・宮城県生活協同組合連合会
- ・福島県生活協同組合連合会

■取扱い団体

署名送付先

みやぎ生協・コープふくしま 福島県本体内「アルプス処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F Tel.024-557-1181